

日置の伝統行事 写真集に

日置市に古くから伝わる行事の今昔を比較した三つの写真集が自費出版された。県内各地の伝統芸能を長年追いつけてきたアマチュア写真家の長里利寛さん(70)が昨秋から今春にかけて制作。地元住民から「懐かしい」「貴重な記録」と好評だ。

◀ 疱瘡踊り ▶



①三味線の伴奏があった1999年の疱瘡踊り＝日吉町(当時)吉利の伊勢神社 ②1997年の餅引つ張りの様子＝伊集院町(当時)古城 (いずれも長里利寛さん提供)



鹿児島市・長里さん

▶ 餅引つ張り ▶



日吉の「吉利中區疱瘡踊り」(A5判72頁)と伊集院・古城の「モ一モ一どん今昔物語」(A5スクエアサイズ48頁)、「吹上の伝統行事」(同36頁)の3冊。ネットプリントで制作した。疱瘡踊りは日吉町吉利の伊勢神社であり、紫色の頭巾で顔を隠した女性たちが踊る。今年3月の様子に、三味線の伴奏があった19年前の写真も添えた。

保存会の下野たみ子さん(67)は「昔踊っていた人たちが写っており記念になる。若い人たちが興味を持ち、会に入るきっかけになれば」と話す。

モ一モ一どん祭り(餅引つ張り)は、つきたての餅をくわえて引つ張り合い、豊作に感謝するユニークな行事。11月に伊集院町古城の田の神像前で行われ、21年前の様子を収録した。

吹上の伝統行事では、伊作太鼓踊りやたじまどん、伊作流籠馬などを取り上げた。

長里さんは「昔からの行事が残っている地域は元気がある。伝統の灯が絶えないように記録を続けたい」と話す。長里さん 090(2086)4494。(角倉貴之)

父親5人が料理に挑戦
大隅・恒吉小
曾於市大隅の恒吉校区公民館で8日、父親

「い」とあいさつした。一ばせている。天候次第が青紫色に色づき始食べ比べてみてーと話